

吉祥寺駅周辺混乱防止対策協議会

背景と目的

- 東日本大震災（武蔵野市 震度5弱）において、吉祥寺駅周辺に2,000人以上の駅前滞留者や、帰宅困難者が発生。
- 会社、学校を離れた理由として最も多かったのは、「会社（学校）の管理者から帰宅するよう指示があったため」（35%）
- ※ 東京都「東日本大震災時の帰宅困難者対策の実態調査」より

駅周辺の事業者等を構成員とする協議会が中心となり、東日本大震災の経験と教訓を踏まえ、関係機関が協力して「吉祥寺ルール」を策定し、まちぐるみで混乱防止に取組む。

武蔵野市

- ◆ 駅前滞留者 12.3万人
- ◆ 帰宅困難者 3.0万人

※「首都直下地震による東京の被害想定報告書」による⇒パーソントリップ調査の検証結果により変動の可

地域特性

- 吉祥寺駅は、2事業者3路線の鉄道が結節するとともに、比較的大きなバスターミナルを持つ公共交通ターミナルとなっている。

（JR=中央線 総武線 京王=井の頭線 西武=西武多摩川線）

※ 1日平均乗降客数

吉祥寺（JR）276,966人（京王）141,475人
三鷹（JR）180,506人
武蔵境（JR）125,412人（西武）28,281人

（平成25年度市政データファイルより）

- 吉祥寺駅は、現在改修が終了しており、従来よりも安全で快適な都市空間の創出が見込まれている。



- 多様な形態の商業施設が集積しており、子どもから高齢者まで日常的に賑わっている。
- 多様な公共施設（公会堂、美術館、図書館、市政センター、コミセン、シアター等）が存在。
- デパート・映画館・ホテル等の大規模集客施設が点在している。
- 予備校や学習塾等が、駅周辺に数多くある。
- 広域避難場所（井の頭恩賜公園）が駅近くにある。
- 駅から少し離れて大学がある。（成蹊大学、東京女子大学）
- むさしのFM、J:COM武蔵野・三鷹が存在し、地域の身近な情報を発信している。
- 駅周辺の各商店街に放送設備が整備され、放送が可能。
- 駅前にビジョンが設置されており、情報発信が可能。

吉祥寺駅周辺混乱防止対策協議会

- 平成20年8月に、吉祥寺活性化協議会、JR吉祥寺駅、関東バス武蔵野営業所、武蔵野警察署、東京都西部公園緑地事務所、市防災安全部を構成員とし、設立準備会が発足。
- その後、3回の準備会を経て、平成21年5月28日に協議会を設立。
- 平成22年、23年には、東京都総合防災部主催の駅前滞留者対策協議会連絡会に事務局参加。
- 平成23年度に準備会の構成員を中心とした幹事会を3回開催し、吉祥寺駅の駅前滞留者・帰宅困難者対策について、検討を行ってきた。
- 平成25年3月7日、平成26年3月11日吉祥寺駅周辺帰宅困難者対策訓練を実施した。

ルール

◆ 地域の事業者等は、相互に連携し、駅周辺の混乱防止のため、次のルールを主体的に進める。行政はこれを支援する。

ルール① 一斉帰宅の抑制

事業者・学校等は、一斉帰宅行動を抑制。
二次災害防止のため、従業員、学生等に「むやみに移動を開始しない」を周知、徹底する。
また、正しい情報により安全な帰宅が可能となるか、交通機関が機能し始めるまでの間、屋内等の安全な場所で一時待機を行う。
帰宅できない従業員、学生等は、引き続き、交通機関が機能するまでの間、安全な場所に留まる。

ルール③ 来街者等の保護

事業者・学校等は、来街者等に「むやみに移動を開始しない」ことを広報。
また、各施設で発生した負傷者の応急措置を実施。
まちぐるみで相互に連携し、駅前滞留者・帰宅困難者に対し、情報提供と飲料水・食料等を提供する。
帰宅困難者の一時滞在施設を開設後は、開設情報の提供、施設へ誘導を実施。

ルール⑤ まちぐるみで帰宅困難者用一時滞在施設の確保

大規模事業所、公的機関等は、一時滞在施設としてスペースを積極的に提供する。一時滞在施設の運営は、各施設で自主的、臨機応変に行う。
交通機関の再開や、バス等による代替輸送の開始等まで、待機。市備蓄品の提供（毛布、クラッカー、水等）と情報提供を行う。

ルール② 待機に必要な3日分の備蓄

事業者・学校等における備蓄の一層の充実が必要。
従業員等が事業所内に待機できるよう、3日分の必要な水、食料、毛布などの物資の備蓄に努める。
施設内に待機する従業員や、遠距離帰宅者等には、あらかじめ備蓄していた物品を提供し、支援を行う。

ルール④ 官民の連携による正確な情報提供

協議会は、発災後速やかに、市災害対策本部へ連絡。駅周辺、道路の被災状況などの情報を収集し、対策本部へ伝達。帰宅困難者、民間事業者等に対しては、むさしのFM、J:COM武蔵野・三鷹等で情報提供を行う。

また、情報提供手段として、サンロード、ダイヤ街、平和通り等の商店街の緊急放送設備や、吉祥寺駅の南北通路に開設予定の情報ステーションも活用する。